

第3回 金沢方式あり方検討懇話会

令和6年11月15日（金）

第2回懇話会での主な意見

金沢方式と周知・広報

委員からの発言要旨

金沢方式の成り立ちとして、自分たちの地域は自分たちで守り、育て、運営していくということが基本的な考え方。核となる施設があり、自分たちで運営していくべきという考えが、地域主導、ボランティア、地元による一定の負担につながっている。

困ったことがあった際に、住民同士が助けを求め、応じる関係性が自然と成り立つことが金沢方式の良さであり、周知していくべき。

消防分団では、金沢方式によって他都市より充実した消防設備を持つことができ、地域に支えられているという意識のもと、火事だけでなく、地域での有事の際にも出動しなければならないという心意気を育むことができている。

地元負担があるからこそ維持ができていることや、校下・地区単位に公民館があることで、地域愛に繋がっていること、地域の一体感が生まれていることを周知・広報の中で示していくことが重要。

学校等の教育現場で、金沢方式の理念や考え方などについて伝える場があってもよい。

消防分団としても、教育現場や地域の様々な活動などに積極的に参加し、広報していくべきだと考えている。

第2回懇話会での主な意見

地元負担

委員からの発言要旨

人口が増加していた時代に設定された負担比率が現在も残っており、若い世代が減っていることで負担感が増していると地域から声が上がっている。
これからの人口減少も踏まえ、地元負担割合は再検討いただきたい。

地元負担の割合を現状より軽減していくことは必要だが、行政が全て負担するとなると、地域の活動から人が離れてしまう。

地元負担がゼロとなると、消防分団における防災の要としての自負が低下する恐れがある。

公民館の整備費と運営費について、金沢市が全額負担した場合、61ある公民館を維持できるのか、シミュレーションできるデータを可能な範囲で示してほしい。

地元の負担割合をゼロにした場合、市の財政として対応できるのか疑問。

現在、地域の世帯数などの規模に応じた負担割合の軽減が行われており、今後も一律の設定ではなく、地域の実情に応じた負担割合の設定が必要。

第2回懇話会での主な意見

担い手

委員からの発言要旨

消防分団では、担い手不足に地域差があり、担い手不足が顕著なのは、まちなかであり、地域の方々とのコミュニケーションやつながりを求めながら、勧誘している状況である。

児童館運営を担っている児童厚生員においては、賃金の低さ等から離職者が多いため、処遇改善をお願いしたい。

地域の担い手不足の要因は、人口減少・少子高齢化により、若い世代が少なくなっていることや、職住分離の進展などが挙げられる。若い世代に地域活動に関わってもらう工夫が必要。

町会等の地縁型の活動と、子ども食堂や防災活動、環境問題などのテーマ型の市民活動が協働できる仕組みづくりを後押しする必要がある。見直しの時期に来ている金沢市協働推進計画の検討の際に議論してほしい。

育友会やPTAは若い世代が担っており、その方々が地域活動に関わっている事例がある。地域活動に関わることで、金沢方式の良さが伝わるのではないか。

周知・広報に関すること

周知・広報に関すること

金沢の地域コミュニティの特徴

- ・ 金沢では、城下町の歴史と文化、恵まれた自然環境の中で、豊かな人間性や高い連帯意識と相互扶助の精神が醸成
- ・ 校下（地区）町会連合会、地区公民館、校下・地区婦人会、地区社会福祉協議会、消防分団など、地域住民により組織される団体が自発的に特色ある活動を実践

周知・広報に関すること

金沢の地域コミュニティの特徴

- ・自分たちの地域は、自分たちで守り、育て、運営していくという基本的な考えの下、
「地域主導」、「ボランティア」、
「地域による一定の負担」による運営方式が確立
- ・この独特の運営方式は、「金沢方式」と言われ、
地元が一部負担してでも各校下（地区）に
公民館の設置を望む地域住民の要望を受けて、
身近な地域活動の拠点として、地区公民館を設置した
ことに始まった、全国でも特色のある運営方式で、
児童館や消防分団でも採用

周知・広報に関すること

金沢の地域コミュニティの特徴

- 地区公民館、児童館、消防分団における整備費などの一部を **町会費などととともに住民が負担**することで、自分たちの施設、財産としての自覚が芽生え、住民自治の意識が高揚
- それにより、地域のコミュニティ活動などに地域住民が主体的に参画

周知・広報に関すること

金沢の地域コミュニティの特徴

- ・ これら施設の整備や運営には、それに密接に関わる校下（地区）町会連合会や地区公民館、校下・地区婦人会、地区社会福祉協議会、消防分団など、**各種団体の同意を地域の総意**と捉え、これを最大限尊重し、協力しながら推進
- ・ こういったことの積み重ねにより、住民同士が強くつながり、社会教育、地域福祉、地域防災などの様々な地域課題への対応力が向上

周知・広報に関すること

見直しの方向性

全市民への周知・広報の強化

取り組むべき事項

- ・ 前述の金沢の地域コミュニティの特徴の周知
- ・ 周知する対象を拡大

<具体的な施策>

- ・ 対象の拡大
若い世代や転入者なども含め、広く全市民へ
- ・ 新たな広報媒体の検討
ホームページ、出版物の活用など（次頁参照）
※記載する内容については、媒体に応じて、担当課において調整

文字サイズ変更 **標準** **拡大** 背景色 **黒** **青** **白**

Select Language 音声読み上げ・ルビふり

くらし・手続き 健康・福祉 子育て・教育

金沢市 Kanazawa City

文化・スポーツ観光 産業・ビジネス 市政情報

現在の位置 ホーム > くらし・手続き > 町会・協働・市民活動 > 町会・地域コミュニティ

町会・地域コミュニティ

- 班回覧
- 結ネット
- 学生のまち・金沢
- 集会所(「コミュニティセンター」)を新築、修繕したいのですが、どのような助成制度がありますか

町会・協働・市民活動

- 町会・地域コミュニティ
- 旧町名復活
- 市民協働

かなざわ生涯学習情報サイト
まなびの広場

生涯学習とは 家庭教会サイト 地域学校協働活動 まなびの場 各種申請 ファイナリ イベント情報

かなざわ生涯学習情報サイト
まなびの広場

Canazawa learning life information.
**広がりつづける、
私の世界。**

地区公民館

金沢市の地区公民館は先人達の知恵の結実である「金沢方式」とよばれる、
全国でも特色ある運営方式をとっており、
地域の生涯学習の拠点として極めて充実した活動を展開しています。

小坂公民館

小坂公民館について 年間行事予定 教室・サークル お知らせ 小坂校下について

☎ 076-252-3067
✉ メールでのお問い合わせ

小坂公民館について

金沢地区公民館

金沢の地区公民館は先人達の知恵の結実である「金沢方式」とよばれる、全国でも特色のある運営方式をとっており、地域の生涯学習の拠点として極めて充実した活動を展開しています。

3つの特色

1.地域主導	運営（維持管理、役員専任など）を各地域に委託しています。
2.ボランティア	活動は多くのボランティアの方々によって変更されています。
3.地元負担	運営費や施設の修繕費の一定割合は、地元負担によってまかなわれています。（地元負担率1/4）

組織

館長	地元推薦により、教育委員会が委嘱します。非常勤で任期は2年で再任できます。館の総括責任者です。
主事	常勤の専任職員であり、館長により任命されます。公民館の庶務や、館の管理などのほか、公民館委員とともに各種行事の企画運営を行います。
主事補	常勤の専任職員であり、館長により任命されます。主事の補助職員として公民館事務に携わります。
運営協議会	館長の諮問に応じ、各種事業について調査審議します。委員は主に学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のあるもので構成されます。1館25名以内で、任期は1年で再任できます。
振興協力会	金沢市から各地区公民館の管理者として指定された団体です。市内61の地区公民館にそれぞれ1つずつ存在し、公民館の管理・運営について責任を持つ団体です。

金沢市 児童館ポータルサイト

ログイン検索

金沢市 児童館

子どもたちが安心して過ごせる場所に。

金沢市 児童館ポータルサイト

お知らせ

- 中央地区
- 北地区
- 東地区
- 南地区
- 駅西・臨海地区
- 西地区
- 大型児童館

金沢市 児童館

ポータルサイトTOP

ログイン検索

金沢市消防団
KANAZAWA FIRE BRIGADE

ホーム 消防団について 団員の声 加賀高梯子登りについて 入団について
子どもはしく登り教室 消防団協力事業所 消防団50歳の止

サイト内検索
団員専用ページ

お知らせ

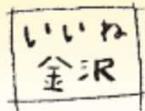
- 2024年10月7日 R6.10.5 北陸ディスティネーションキャンペーンイベントではしご登りを披露しました！
- 2024年6月25日 令和6年金沢市消防団連合総会について
- 2024年3月27日 総務省消防庁消防団協力事業所表示証の交付式を実施
- 2024年3月25日 令和6年 春季火災予防運動に伴う火災防御訓練を実施
- 2024年3月22日 R6.3.16 北陸新幹線【金沢～敦賀間】開業イベントではしご登りを披露！

お知らせ一覧へ

消防団について
金沢の街・人々を守る消防団

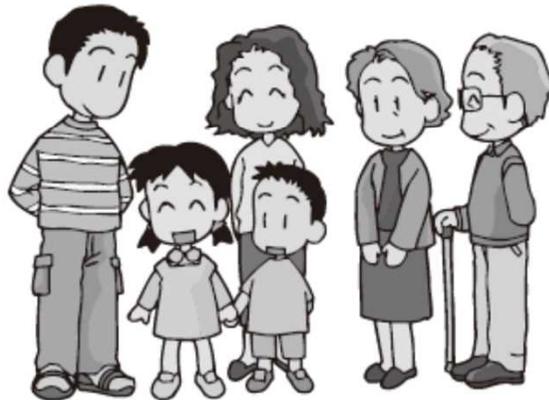
団員の声
地域で活動する消防団員の声

加賀高梯子登りに関して
伝統文化の継承



あなたがつくる公民館

—公民館活動のしおり—



金沢市教育委員会

公民館の役割

- ・地域における身近な学習の機会と場を提供します。
- ・住民同士の心のふれあいを生みだし、地域の連帯感を育みます。
- ・さまざまな地域課題の解決に向けた学習活動を推進します。

金沢の公民館

概ね小学校区ごとに地区公民館が61館設置されており、町会連合会をはじめとした地域団体と連携を保ちながら、活動を展開しています。公民館がこれほど多く、しかも市民生活としっかりと結びついた活動をしているところは、全国でもめずらしいといわれています。



3つの特色

金沢の地区公民館は先人達の知恵の結実である「金沢方式」とよばれる、全国でも特色ある運営方式をとっており、地域の生涯学習の拠点として極めて充実した活動を展開しています。

1. 地域主導……運営（維持管理、役職員選任など）を各地域に委託しています。
2. ボランティア……活動は多くのボランティアの方々によって支えられています。
3. 地元負担……運営費や施設の整備費の一定割合は、地元負担によってまかなわれています（地元負担率1/4）。

金沢方式のメリット

「地域住民の身近にあり、地域に寄り添った職員がいて、利用しやすい公民館であることが、金沢方式の公民館の良いところです。」

1. 住民に身近な拠点……小学校区ごとという身近なところに公民館が設置されています。
2. 地域に明るい職員……地域主体で職員を雇用することで、地域に寄り添った運営がなされます。
3. 利用しやすい公民館……公民館を活用する各種団体が公民館を拠点として事業を展開しており、地域住民が誰でも気軽に利用できます。

金沢の町会加入のご案内



町会加入のメリット(一例)

- ①災害時に助け合う**
大規模な災害が起きた直後は、消防や警察の支援がすぐには行き届かないことがあります。そのような場合、ご自身やご家族だけで、消火活動や負傷者の救出を行うことは非常に困難です。そこで町会では、お互いに助け合う「共助」の精神をもとに自主防災組織を結成し、地域での自主的な防災活動を行っています。
※町会は、地域での救助、救出活動や避難所運営などの災害対応において行政と連携し、被害を最小限にとどめることや、避難所でのコミュニティ形成に重要な役割を担っています。
- ②犯罪から身を守る**
町会では、地域内での犯罪を防ぐため「防犯パトロール」などの防犯対策を行っています。
- ③子どもたちを交通事故から守る**
交通事故による被害をなくすため、児童が登下校する際の安全確保などの交通安全活動を行っています。
- ④地域住民の交流を深める**
町会では、盆踊り、夏祭りなど各種のイベントを開催しています。イベントに参加することで近隣住民との交流が深まります。
- ⑤市などから様々な支援が受けられる**
詳しくは、「4.市の助成制度について」をご覧ください。



町会の区域について

あなたのお住まいの町会区域について、インターネットで確認できます。
掲載マップ一覧の「町会区域情報」を選んで、住所から検索できます。



金沢市まちづくり支援情報システム

1 町会について



町会は地域住民が自主的に運営している団体です。地域住民の親睦を図るとともに、地域の安全・安心に取り組み、良好な生活環境を築いていくことを目的としています。町会へ加入し、「地域の一員」として、様々な行事や活動に参加することで、交流や親睦が深まり、地域の連帯感が生まれ、いざという時に支え合い、助け合うことができます。住みよい豊かな地域をつくるために町会への加入をおすすめします。

金沢の地域コミュニティについて

金沢は、城下町の歴史や文化、恵まれた自然環境の中で、豊かな人間性や高い連帯意識と相互扶助の精神を育んできました。そして、町会、公民館、婦人会、社会福祉協議会、消防団など地域住民により組織される団体が、自発的に特色ある活動に取り組んできました。

金沢のコミュニティ意識

歴史的に金沢は加賀藩・前田家の城下町として発展したことから、城を中心とした人々の結びつきが強かったと言われています。また、北陸ならではの寒風高土も相互扶助の精神を育み、人々のコミュニティ意識を培っていったものと思われま。

ちょっとコラム 金沢のコミュニティと雪

金沢のコミュニティは、雪と切っても切れません。積雪があると、早朝、隣家が言い出すともなく、地域のみんなで自宅の前はもちろん、隣家の前付近も除雪し、「ありがとう」「お互いさま」「おつかれさま」といった言葉を掛け合い、地域のぬくもりと絆、お互いを助け合うコミュニティを育んできました。一本の道も、地域の住民の協力体制がないと、通りにくくなります。積雪時には、自宅前を雪かきし、通勤や通学、買い物や通院などがスムーズになるよう、お互い助け合いましょう。



2

金沢市民 暮らしの情報誌

かなざわ生活ページ

令和6年度版

Living guide in Kanazawa 2024

金沢市

- 転入・転出の時には 2
- 緊急・防災 7
- 届け出・証明 14
- 国保・年金・福祉 18
- 健康・医療 32
- 教育 38
- 暮らし・環境 44
- 税金・経営相談 54
- 市民相談・お知らせ・議会 58
- 文化スポーツ・施設 66
- 市民センター・庁舎案内 78

転入・転出の時は

●町会の加入

町会は、地域住民の親睦と相互扶助による「明るく住みよいまちづくり」を目的に、レクリエーションや地域の環境美化、防犯・防火・防災などさまざまな活動を行っています。

町会への加入は、お住まいの地域の町会長に申し出てください。

町会がわからない場合は、地域コミュニティサポートデスクにお問い合わせください。

〈主な町会活動〉※町会は自治組織であり、活動内容は町会により異なります。

- 親睦・レクリエーション活動
体育祭や文化祭、盆踊りなどの催しを通じ、地域住民の親睦を図っています。
- 環境美化活動
住みよい環境づくりのために道路や公園などの清掃活動を行っています。
- 防犯・防火活動
防犯灯の設置及び管理や、夜回りなどの防火活動を行っています。
- 防災訓練
自主防災組織を結成し、万一の地震や水害、火災に備え、防災訓練を実施しています。
- ごみステーション管理
ごみステーションの管理を当番制で行っています。

〈問い合わせ〉 金沢市町会連合会事務局 ☎220-2466
地域コミュニティサポートデスク (市民協働推進課内) ☎220-2552

●郵便局の住所変更手続き

お近くの郵便局へ本人確認資料を持参し手続きをしてください。

1年間、旧住所あての郵便物などを新住所に転送します。

●保育所等の利用手続き

→ P30・31

保育所等の利用やご相談は直接保育所・認定こども園、または保育利用支援員にお問い合わせください。

〈問い合わせ〉
保育幼稚園課 (保育利用支援員)
☎220-2538

3

消防団員募集

金沢市・金沢市消防団連合会

継いで、先輩！ 消防団員 Q&A

令和3年(2021年) 4月入団
石田 遼 さん

■所属：金沢市第一消防団 新登分団
■年齢：21歳
■職業：大学生

Q1 消防団に入ったきっかけは？

A1 父から勧められて入団しました。父は現役の消防団員で、祖父も昔、消防団員として活動しており、半ば強制的な入団でした。しかし、入団してみると先輩方は優しい方ばかりで、たくさんのことを教えてくれて、今では楽しく活動ができています。

Q2 消防団ってどんな活動を行っているの？

A2 火災や地震、風水害や雪害が発生した場合はもちろん、要請があればあらゆる災害に出動し、消火活動や被災者の救命・救助、住民の避難支援などを行います。平常時には、災害対応のための訓練、車両や資機材の点検のほか、火災予防や広報活動も行っています。また、金沢市の消防団員は、出初式や百万石まつりで披露している「加賀鷹梯子登り」の保存会活動も行っています。

Q3 女性でも入団できるの？

A3 入団できます！現在は37名が在籍し、火災予防の広報・啓発活動や救命講習指導、大規模災害時の後方支援に従事しています。

令和3年(2021年) 4月入団
杉本 亜美 さん

■所属：金沢市第二消防団 団本部
■年齢：22歳
■職業：大学生

Q4 入団して良かったことはありますか？

A4 視野が広がったことです。入団してからは、様々な年齢層、職種の方とお話する機会があり、多様な価値観や考え方を知ることができました。

少しでも消防団に興味がある方へ

消防団は年齢層が幅広いので、団員の方と上手にコミュニケーションが取れるか不安な人もいます。でも、大丈夫！どの先輩方も温かみのある人ばかりです。困った時には、助けをもらいながら、楽しく活動しています。これからの消防団は、私たちのような若い世代の力が必要だと思います。ぜひ、一緒に活動しましょう！

地域に貢献してこの町を誇りたい！

先輩との関わりもできます！

地元負担に関すること

地元負担に関すること

公民館の施設整備費（推計）

過去実績と比較し、建替件数や建築単価の増により、

地元負担…27億円の増、市負担…81億円の増

全額公費負担とする場合

市負担…114億円の増

		過去20年 実績 (建替、新築、改築：13館)	今後20年 推計 (建替：46館)	
		地元負担割合のパターン		
		①現行どおり (25/100)		②地元負担なし(0/100)
総額		24億円	132億円	132億円
地元負担		6億円	33億円	0億円
市負担		18億円	99億円	132億円

過去実績と比較し、事業費や人件費の増により、

地元負担…6億円の増、市負担…18億円の増

全額公費負担とする場合

市負担…65億円の増

		過去20年 実績 (対象：60館) ※2021年度～ 61館		今後20年 推計 (対象：61館)	
		地元負担割合のパターン			
		①現行どおり (25/100)		②地元負担なし(0/100)	
総額		164億円		188億円	
地元負担	41億円	6億円の増 → 47億円		0億円	
市負担	123億円	18億円の増 → 141億円		65億円の増 → 188億円	

施設整備費 + 運営費

地元負担…33億円の増、市負担…99億円の増

全額公費負担とする場合

市負担…179億円の増

	過去20年 実績	今後20年 推計	
		地元負担割合のパターン	
		①現行どおり (25/100)	②地元負担なし(0/100)
総額	188億円	320億円	320億円
地元負担	47億円	80億円	0億円
市負担	141億円	240億円	320億円

33億円の増 (47億円 → 80億円)
99億円の増 (141億円 → 240億円)
179億円の増 (141億円 → 320億円)

地元負担に関すること

見直しの方向性

現行の地元負担を軽減

取り組むべき事項

人口減少や物価高騰など、
地域コミュニティを取り巻く環境の変化を踏まえ、
市財政への影響を勘案しながら、
施設整備費及び公民館運営費に係る地元負担を軽減

担い手に関すること

担い手に関すること

見直しの方向性

関係する各計画に掲載している担い手育成に関する施策について、引き続き実践していくとともに、必要に応じて見直しを図るなど、取り組みを強化

取り組むべき事項

以下の計画の改定にあわせ、担い手育成に関する施策を強化し、着実に実践

- ・ **かなざわ子育て夢プラン**（子育て支援課） R2～R6年度
- ・ **金沢市協働推進計画**（市民協働推進課） R3～R7年度
- ・ **金沢市生涯学習振興基本計画**（生涯学習課） R3～R7年度

その他

区域について

(1) 現状

- ・ 町会連合会の区域は、歴史的背景や地理的要因に加え、その後の人口動態などの変化も踏まえて、地域が主体となって合意形成を重ねて現在に至る
- ・ 消防分団の区域については、地元住民や校下町会連合会等との相互理解及び合意が得られた分団から見直しを検討する
「金沢市消防団管轄区域検討委員会検討結果報告書より」

(2) 方向性

区域の見直しについては、地域の総意による発議が基本であり、地域の要望等に応じ市が協力

スケジュール

令和6年度の主なスケジュール

【スケジュール（案）】

時期	内容
7月22日	第1回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・概要説明・現状、課題等に関する意見交換
8月29日	第2回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・課題の整理、見直しの方向性 など
11月15日	第3回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・見直しに向けて取り組むべき事項 など
1月頃	第4回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・とりまとめ